

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 5 月 20 日 作成

事務事業名	男女共同参画推進研修事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連
総合計画 体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	総務企画部	課長名 後藤一男
	施策	21	人権が尊重される社会づくり	所属課	総務課	担当者名 岡本貴子
	基本事業	75	男女共同参画推進活動の実践	所属班	総務・男女共同参画班	(内線) 1217
				法令根拠	男女共同参画社会基本法、合志市男女共同参画まちづくり 条例	

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	8
	1	2	1	15	10909			コスト削減優先度評価結果	6
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)				

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
○男女共同参画社会づくり地域リーダー育成事業(熊本県主催)
・この事業に関わる事前研修(1日)、本研修(3泊4日)、事後研修(1日)に参加して、そこで得た知識や実践方法を、地域のリーダーとしてまちづくりにいかせてもらう。
○サミットinいざも
・男女共同参画都市宣言した首長が一同に会し、自治体の責務としての男女共同参画のまちづくりをシンポジウム形式で討論する。

【業務の流れ】
1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)	
20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO)	・男女共同参画サミットinみやざき ・男女共同参画社会づくり地域リーダー育成事業(熊本県主催)	
・同上		
	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	回
	→ ア 研修会等数	回
	イ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)	人
・地域リーダー研修の参加者	→ ア 参加者数	人
	イ	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)	人
・研修で得たものを地域、職場、懇話会等に広げる	→ ア 研修に参加して有意義と感じた人数	人
	イ 研修に参加した参加者数	人
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位)	%
市民・事業所・市外からの通勤・通学者が、男女共同参画に向けて取り組むようになる	→ ア 委員会、審議会等への登用率(行政・学校)	%
	イ 男女共同参画社会が構築されてきたと思う市民の割合	%

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	単位	18年度	19年度	20年度	20年度	21年度	22年度	23年度	全体計画 ~ 年度	
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	(目標)	(予定)		
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	総 ト ー タ ル コ ス ト	
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0	0	0		
	繰入金	千円	0	0	0	0	0	0		
	一般財源	千円	161	89	198	183	150	150		150
	(A) 事業費計	千円	161	89	198	183	150	150		150
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	人件費	人	4	4	4	4	4	4		4
正規職員従事人数	時間	464	464	464	180	464	464	464		
延べ業務時間	千円	1,842	1,847	1,847	716	1,847	1,847	1,847		
(B)人件費計	千円	1,842	1,847	1,847	716	1,847	1,847	1,847		
トータルコスト(A)+(B)	千円	2,003	1,936	2,045	899	1,997	1,997	1,997		

活動指標	ア イ	回	1	1	1	1	1	1	目 標 合 計 値 画
対象指標	ア イ	人	2	3	4	2	2	2	
成果指標	ア イ	人	3	3	4	2	2	2	
上位成果指標	ア イ	%	26	24.4	34	17.8	37	40	
		%	未把握	49.8		49.4			22 年度

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
・熊本県や他自治体主催の研修会が開催される時、参加していた。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
・内容も講演会形式から、歌や踊り、落語等が取り入れられるようになった。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
・特に聞いていない。

事務事業名	男女共同参画推進研修事業	所属部	総務企画部	所属課	総務課
-------	--------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 意図の研修で得たもの(手法、講師選定)を、合志市のイベントに活かし、男女共同参画について正しく理解することに結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体で得た事が、合志市のイベントに活かされるので、妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 対象、意図とも現状で適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 研修等の内容を吟味し、いく必要があるものと、ないものを分ける。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体の研修会等に参加しないと、情報が少なく、合志市の研修会等に活かせない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 参加するだけなので、他に手段がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 県地域リーダー研修は、県が予算を決めるので、削減余地はない。また、各種研修会参加については、日当が廃止されるので、削減余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 参加する人数を制限すれば削減余地はある。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 県地域リーダー研修参加者は、広報で一般公募し、また、そこで得た内容は、地域で活かされるので公平・公正である。また、他自治体の研修会も、そこで得たものが合志市主催のイベント等で活かされるので、公平・公正である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	① 目的妥当性については、妥当である。 ② 有効性については、有効である。 ③ 効率性については、研修に参加する人数を減らすことはできるが、その分男女共同参画を進める上で取り組みに活かせるものが減る可能性がある。 ④ 公平性については、公平である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 研修に参加する人数を減らす	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下	○		
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下	○																							

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

研修に参加する人数を減らせば、その分男女共同参画を進めるうえでの取り組みに影響する可能性があるため、参加する研修等の内容を吟味し、必要な研修等に参加する。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	2	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	5	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)